

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	画像高精細化手法とそれをを用いた機械学習による高精度三次元動態追尾システムの研究
	研究目的	重粒子線治療における腫瘍標的の位置合わせおよび体内運動に対応した照射技術のさらなる高精度化を目指し、画像処理方法の研究開発をおこなう。このための検討データとして利用し、腫瘍及び周辺臓器の変形・変位の定量化及び可視化に関連した研究を行う。
	研究期間	西暦 2018 年 6 月 22 日 ~ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(重粒子線治療の診療時に取得したX線画像データ) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の管理についての責任者	研究責任者	物理工学科・科長 蓑原伸一
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	物理工学科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	国立大学法人 横浜国立大学 大学院工学研究院 濱上知樹 教授